

入居企業の声



後ろに見えるのは、同社工場のクリーンルーム

有限会社Q-Lights 代表取締役 榎田 剛 さん

テレビのディスプレイや照明などに使われる有機ELという材料の性能評価を主な事業としています。山口県で操業していましたが、自社装置での事業展開を考え、平成24年2月に起業化支援センターに入居移転しました。

入居は、岩手大学の教授から紹介されたのがきっかけでしたが、移転立ち上げの段階から、支援センター職員の支援が受けられること、さらに大小さまざまなレンタ

ル施設を備えており、段階に応じた事業展開がしやすいということが決め手となりました。

花巻で操業を始めてから3年目を迎えますが、支援センターの持つ産学官のネットワークを活用させていただき、研究の幅を広げることができました。今後、事業拡大を図るとともに、自社の技術を地元企業に提供するなど、岩手の経済活動に貢献していきたいと思っています。

花巻市起業化支援センター 佐藤 亮 統括コーディネーター

起業化支援センターのコーディネーターとして、入居企業はもちろん、入居以外の市内企業の課題解決をお手伝いしています。

企業からの相談内容は研究開発や補助金申請、販路開拓など多岐にわたります。その中で心掛けていることは、顔と顔を合わせた支援です。何度も話し合いを重ねることで企業の課題や目標を理解し、合意形成を図りながら共に活動しています。また入居企業に地

元企業を紹介することがありますが、将来を見据えお互いの企業にとって何がベストなのかを考え、さらに「この経営者であればこの企業」というように、“人”に着目してつないでいます。

当センターの施設やコーディネート機能を多くの企業に活用いただき、工業だけでなくいろいろな産業が次々と生まれてくる姿を目指していきたいと思っています。

コーディネーターの声



後ろは、支援センターが保有する3Dプリンター

支援センターを通じて生み出される新商品や新事業。これらの成果はその企業だけでなくどまりません。新たな雇用や企業誘致などの相乗効果を

現在、支援センターに入居している企業は12社。平成8年の開設から数えると57社に上ります。これら企業は、支援センターでの研究・開発期間(最長5年間)を経て、自社工場の開設などに発展しています。また支援センターのサポートを受け、事業展開を広げている市内企業も数多く存在しています。

生み出される成果が市の工業発展をけん引

また、保有する三次元測定機、3Dプリンターなどのさまざまな試験・測定機器を市内企業の研究開発に開放しています。

もたらし、本市の工業発展をけん引しています。

起業・創業・事業相談会

起業・創業・事業の2次展開などを考えている人を対象に補助制度などの情報提供と個別相談を実施しています。

日時および会場

▽8月13日(水)以後、毎月第2水曜日、午後7時：花巻市起業化支援センター(二枚橋5-6-3)

▽8月27日(水)以後、毎月第4水曜日、午後7時：花巻市ビジネスインキュベータ(大通り二丁目3-5)

定員 各回5人

参加料 無料

申し込み方法 ①氏名②連絡先③参加希望日④相談内容を記入の上、ファクスまたは電子メールで左記へ

問い合わせ・申し込み 花巻市起業化支援センター

☎26-5430 FAX26-1103 33 Notao_hiroaki@iphc.jp



企業活動をサポート 花巻市起業化支援センター

市は、新たに事業を起こし会社を立ち上げたいと思っている起業家や、新商品を開発したいと思っている市内企業などを応援するため、花巻市起業化支援センターを開設しています。ここでは、同センターの取り組みや入居企業の声などを紹介します。

共に活動し 起業家をサポート

花巻市起業化支援センター(以下「支援センター」といいます)では、起業家の皆さんを事業立ち上げの段階から支援するため、研究室8室、工場棟13棟のレンタル施設を備え、事業が軌道に乗るまでの一時的な活動拠点として貸し出しています。また、支援センターには民間企業出身のコーディネー

関係機関との連携で 市内企業をサポート

ターが常駐し、起業家の皆さんの事業構想や事業計画書の作成はもちろん、経営課題の解決に向けた取り組みに至るまで、伴走者となってサポートしています。

起業化支援センター入居企業が開発した主な製品



ネジ保持機「オールマイティ」 有限会社サワ

平成10年、支援センターに入居。国の補助金申請、販路開拓などの支援を受けながら製品開発。平成15年からは本市一日市の自社工場で操業。製品は自動車産業をはじめ全国の製造組立工程で採用されている。



各種加工食品 株式会社 里山パートナーズ

昨年8月に法人化。同時に支援センターから事業立ち上げにかかる支援を受けながら同センターに入居。大船渡の加工場6社からなる「三陸パートナーズ」が商品化した水産加工食品などのソースやスープを中心に製造している。